

令和6年度 市政アンケート調査 第6回結果報告(概要版)

1. 市政アンケート調査の概要

- | | |
|-----------|---|
| (1) 目的 | ①本市の施策や事業に関するアンケートを実施し、施策推進のための参考とする。
②アンケート調査を通じ、市民の市政への関心や理解を深める。 |
| (2) 調査対象者 | 福岡市内に居住する満18歳以上の市民644人(就任時)
①選考方法:住民基本台帳から無作為に抽出した市民の中から承諾を得て依頼
②任期 : 令和6年4月8日から令和7年3月31日まで |
| (3) 調査方法 | 【案内:郵送・メール、回答:郵送・インターネット】 |
| (4) 調査主体 | 福岡市 市長室 広聴課 |

2. 第6回調査の概要

- | | |
|------------|--|
| (1) 調査時期 | 令和6年11月5日から11月19日まで |
| (2) 調査対象者数 | 636人 |
| (3) 回答者数 | 536人 |
| (4) 有効回答率 | 84.3% |
| (5) 調査テーマ | ①「ユニバーサル都市・福岡」について
②「外国人観光客のマナー」について
③「食のユニバーサル」について
④「脱炭素社会の実現に向けた取り組み」について
⑤「ユマニチュード®」について |

3. 注意点

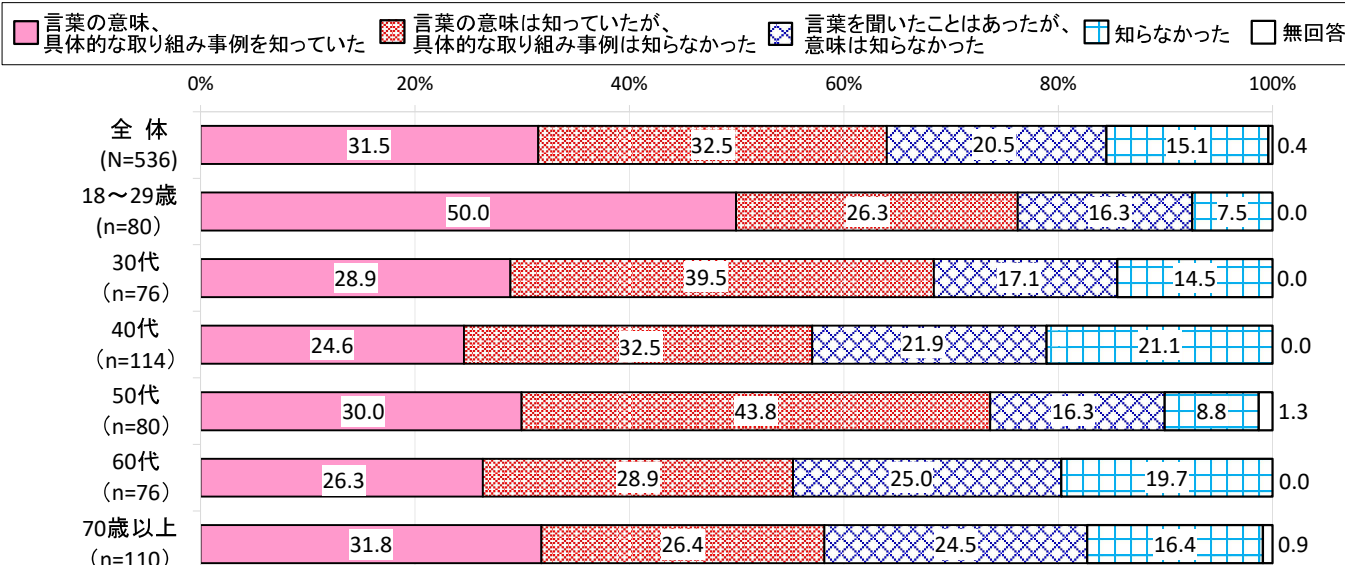
- (1) 各設問の母数(調査の元になる数)は、(N=)または(n=)で表記しています。ただし、グラフ中に特に表記がないものについての母数は、各テーマ横にある(N=)の数字となります。
- (2) 小数点第2位を四捨五入しているため、百分率の合計が100%にならない場合もあります。
- (3) 複数回答ができる設問では、回答率の合計が100%を超えることがあります。
- (4) 今回の調査結果の詳細についてのお問い合わせは、各事業の所管課にお願いします。

①「ユニバーサル都市・福岡」について(N=536)

※『 』は2つ以上の選択肢を合計して表したものと

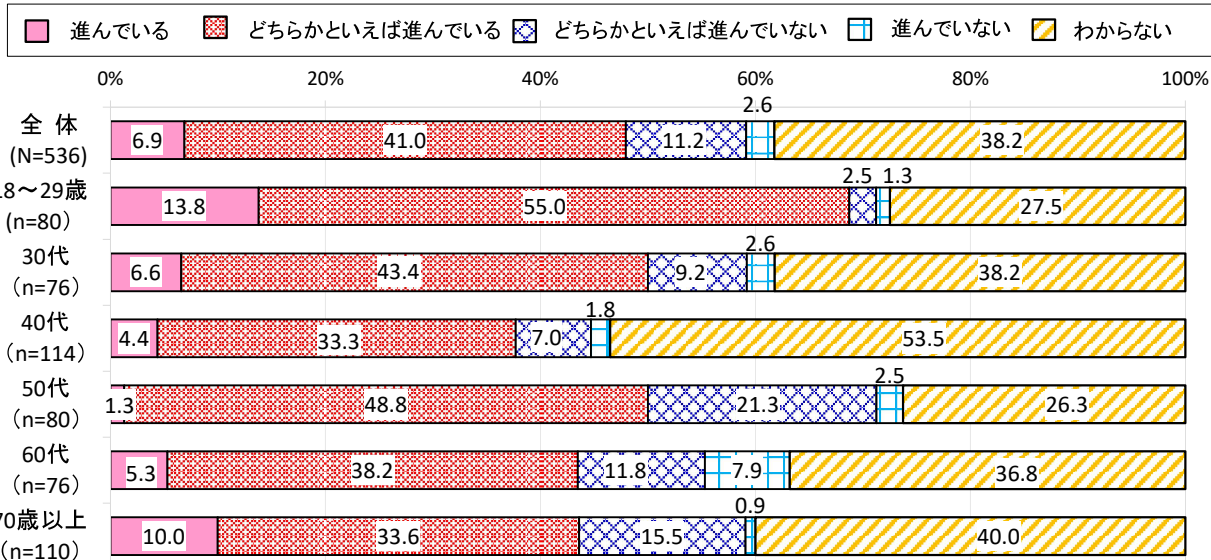
例:『満足』=「満足している」+「どちらかといえば満足している」

《ユニバーサルデザインについてどの程度知っていたか》

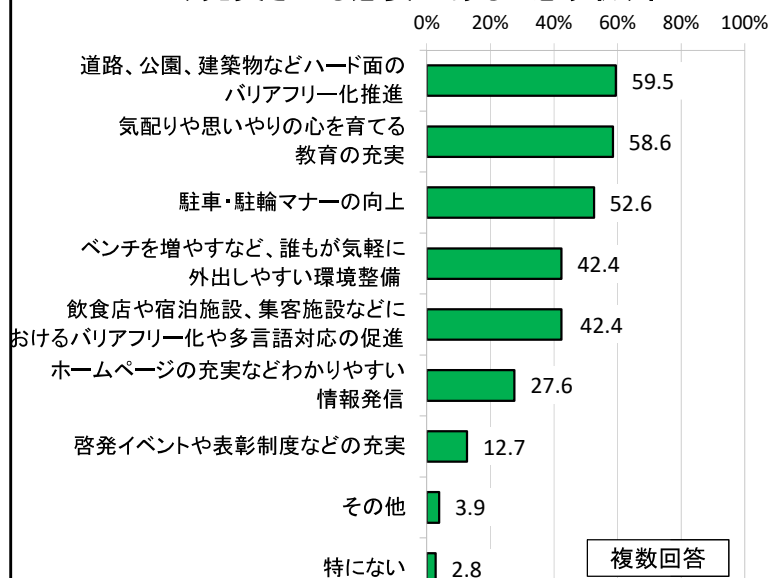


『知っていた』と回答した方は全体の64.0%でした。年代別にみると18～29歳で最も高く、76.3%となりました。

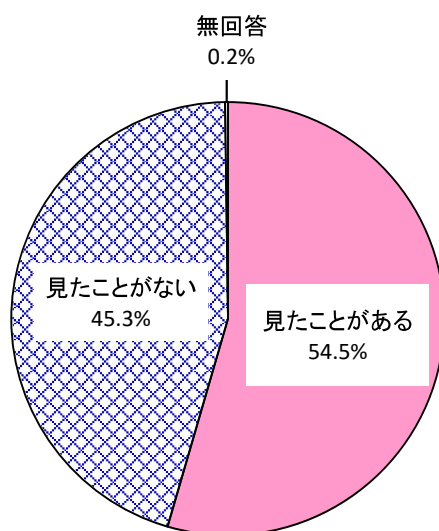
《福岡市はユニバーサルデザインの取り組みが進んでいると思うか》



《「ユニバーサル都市・福岡」を実現するため、より充実させる必要があると思う取り組み》

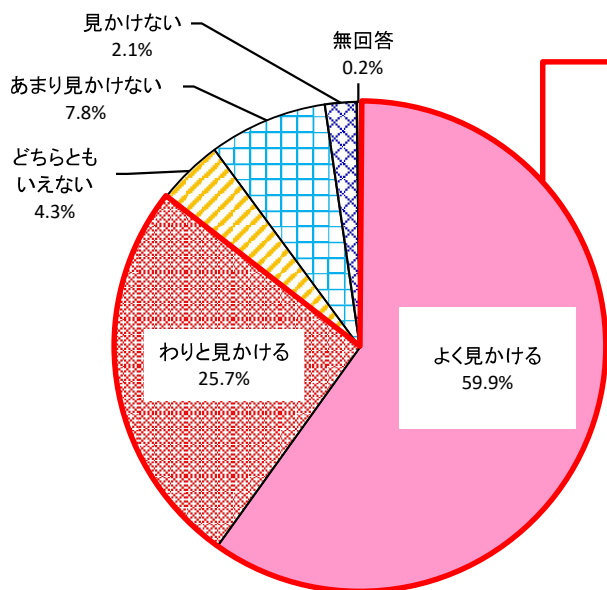


《「ユニバーサル都市・福岡」のロゴマークを見たことがあるか》

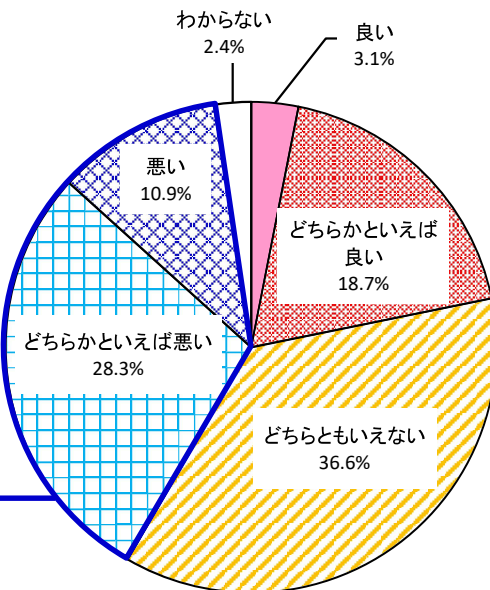


②「外国人観光客のマナー」について(N=536)

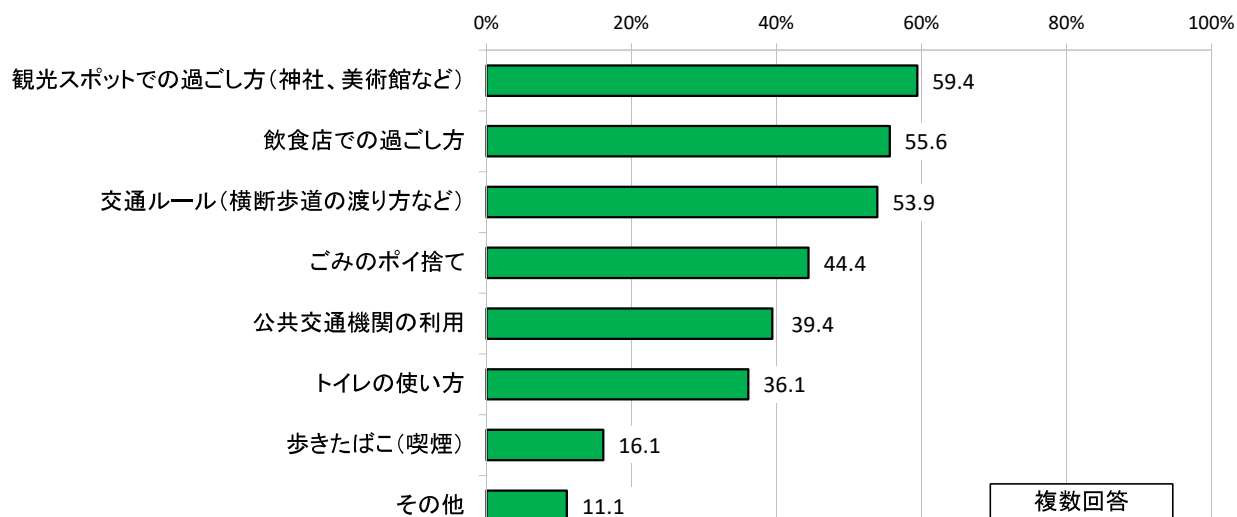
《外国人観光客を見かける頻度》



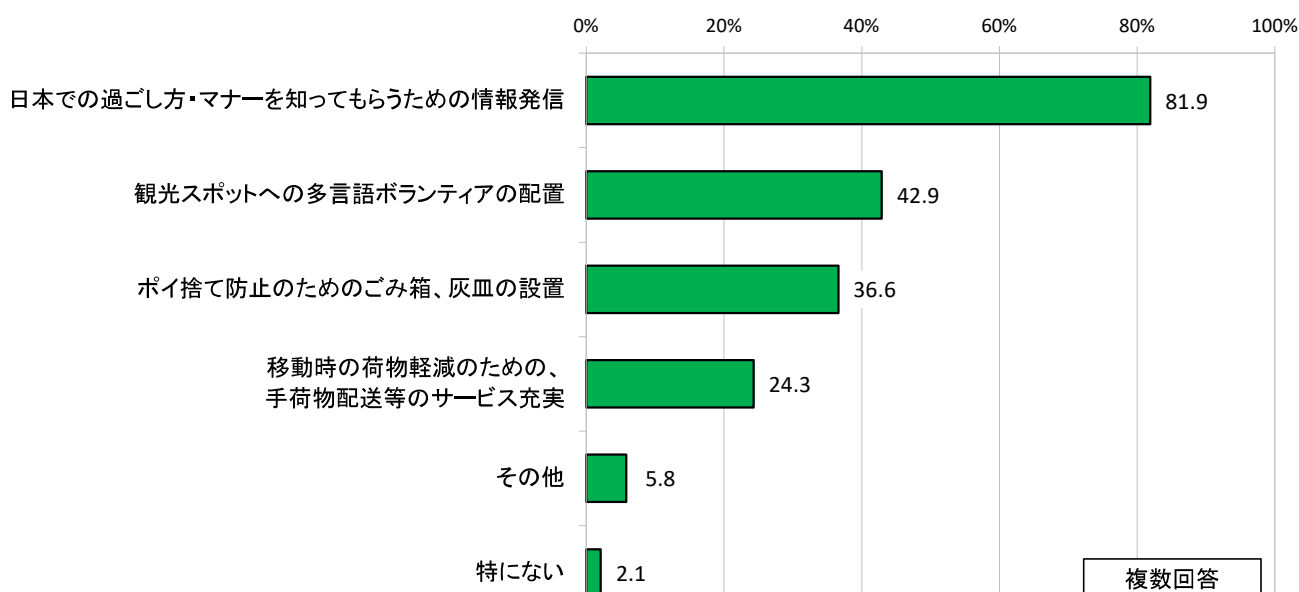
《外国人観光客のマナーについて》 (n=459)



《外国人観光客のマナーについて課題があると思うもの》 (n=180)

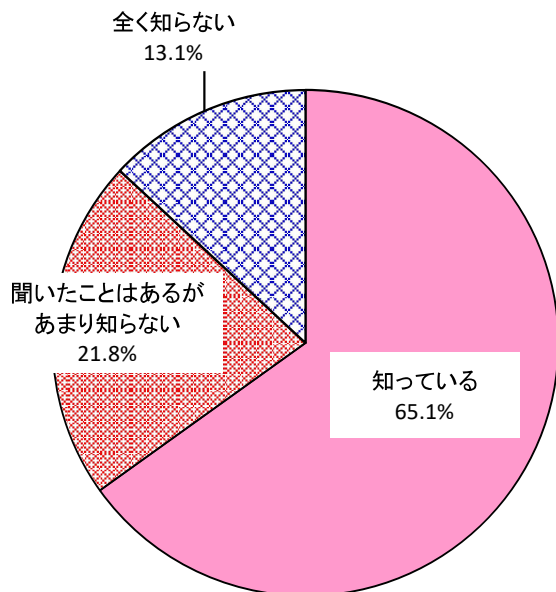


《今後福岡市が力を入れていくべき施策》

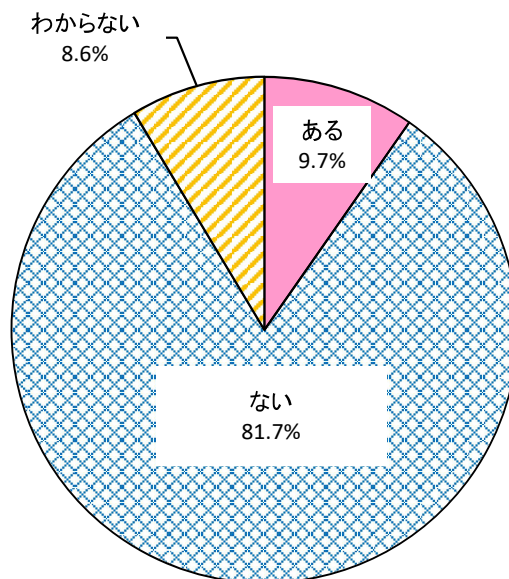


③「食のユニバーサル」について(N=536)

《ヴィーガン等の認知度》



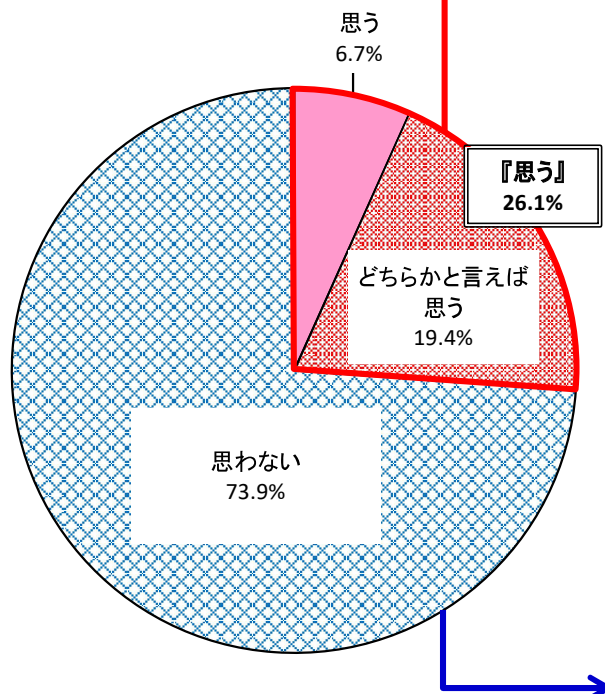
《飲食店でのヴィーガン等の料理を食べたことがあるか》



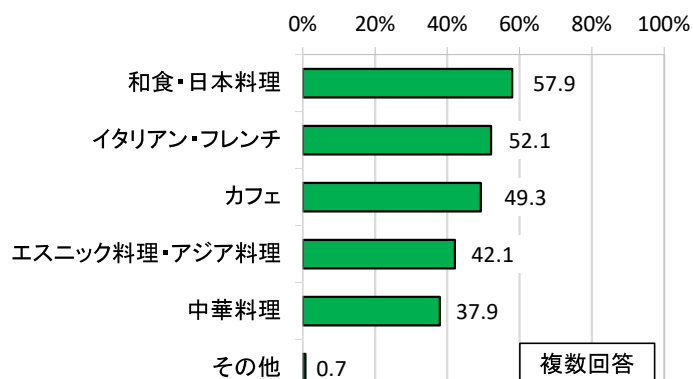
※ヴィーガン等とは

- ・ヴィーガン:肉や魚介類のほか、卵製品や乳製品、蜂蜜を含めた動物性食品を一切口にしない人
- ・ベジタリアン:肉や魚介類などの動物性食品を食べず、野菜などの植物性食品を食べる人
- ・ハラール:イスラム教で「許されたもの」を指します。食べ物の場合、豚肉やアルコール飲料などは禁じられています。

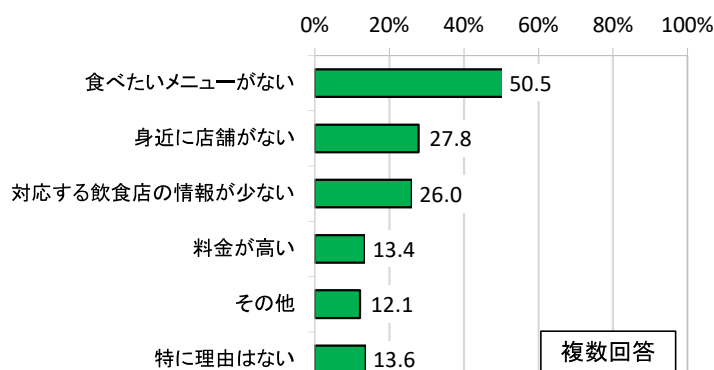
《ヴィーガン等対応の飲食店に行ってみようと思うか》



《行ってみたいジャンル》 (n=140)



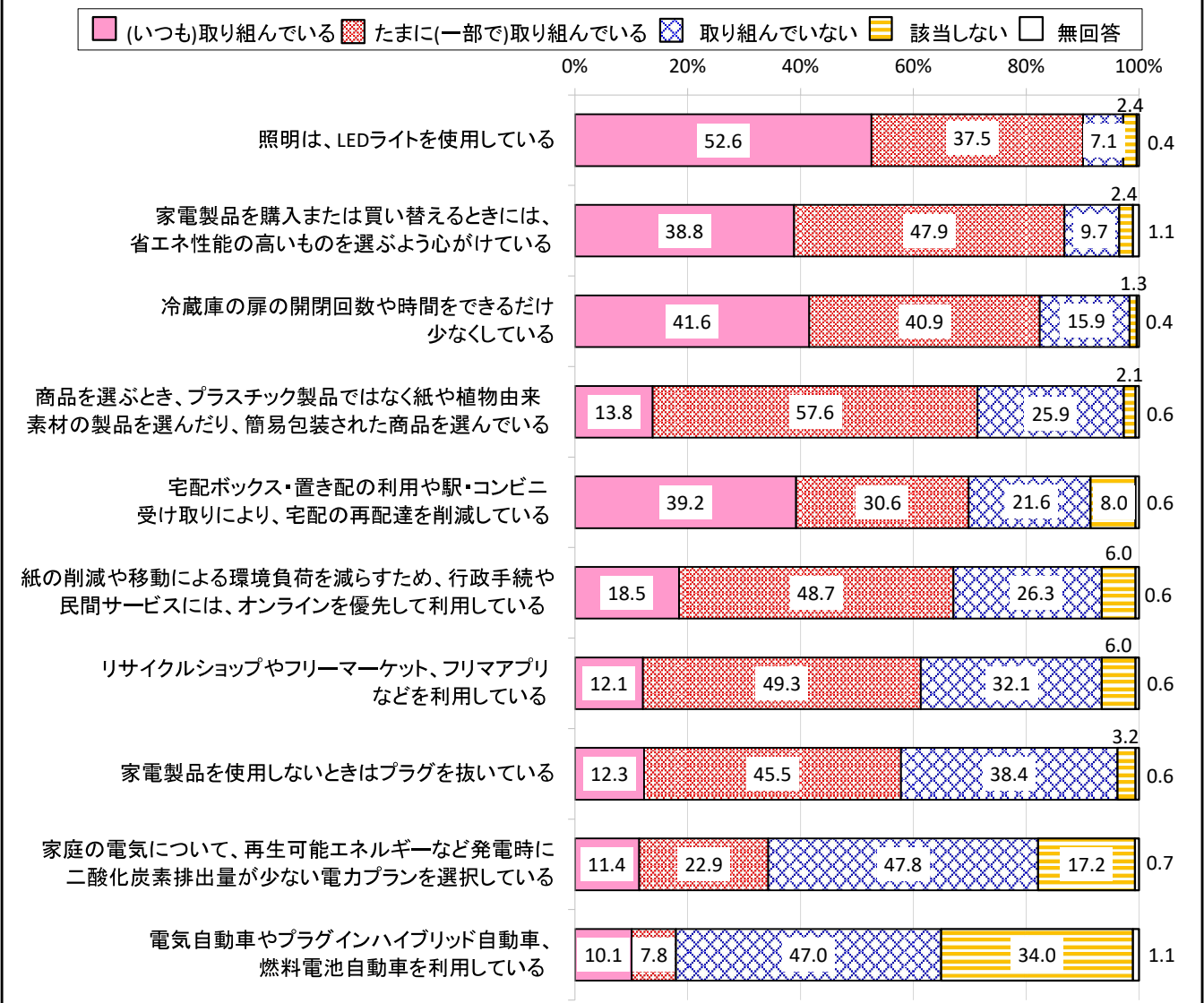
《「行ってみたいと思わない」理由》 (n=396)



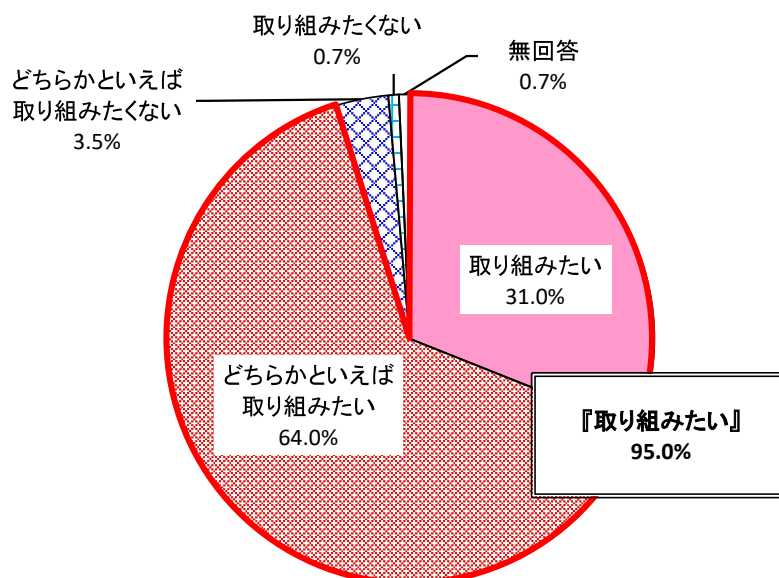
ヴィーガン等対応の飲食店に『行ってみようと思う』と回答した方の行ってみたいジャンルは「和食・日本料理」が57.9%、次いで「イタリアン・フレンチ」が52.1%となりました。一方、「行ってみたいと思わない」と回答した方の行ってみたいと思わない理由は「食べたいメニューがない」が50.5%となりました。

④「脱炭素社会の実現に向けた取組み」について(N=536)

《脱炭素行動について》

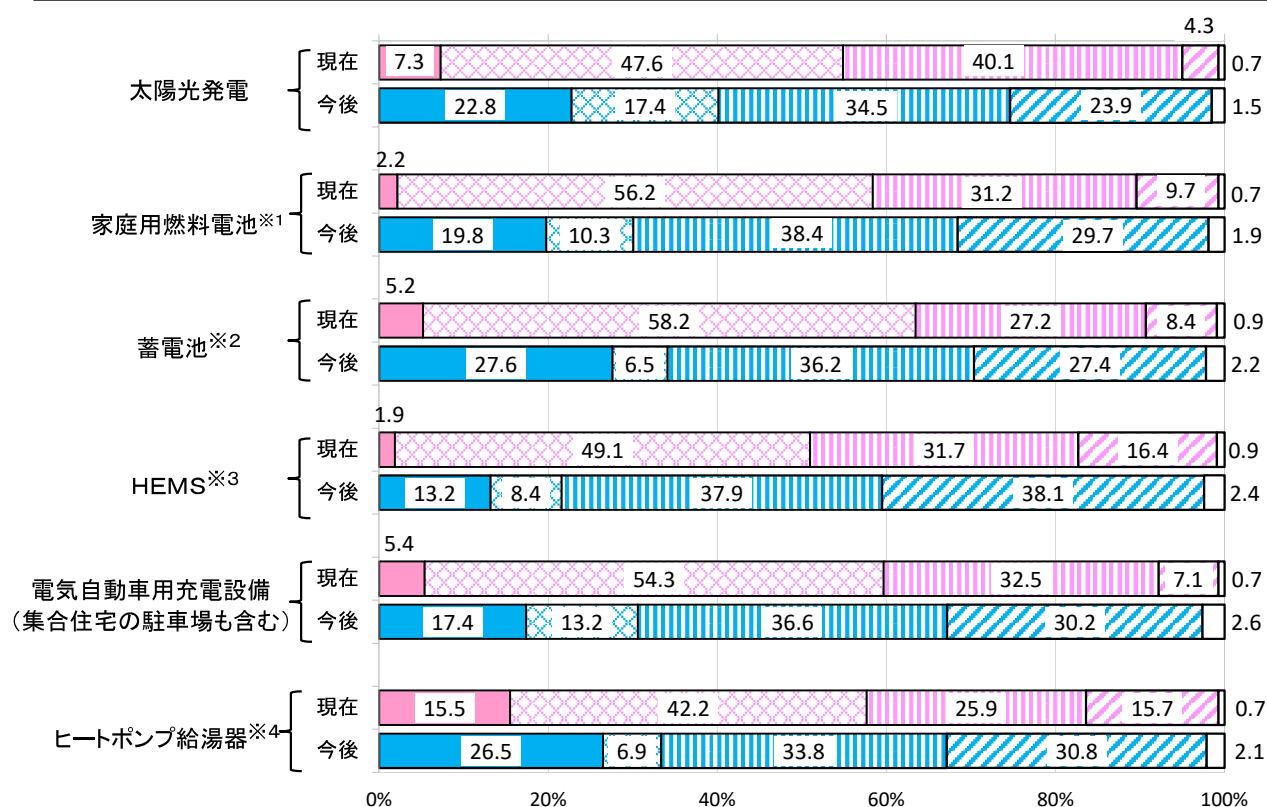


《脱炭素行動に取り組みたいと思うか》



《省エネ・再エネ設備の設置状況と今後の設置意向》

【現在】 ■ 設置している ■ 設置していない ■ 設置できない ■ わからない □ 無回答
 【今後】 ■ 設置したい ■ 設置したくない ■ 決めていない ■ わからない □ 無回答



※1 家庭用燃料電池（エネファーム）

：ガスから水素を取り出して発電と給湯に利用する機器

※2 蓄電池

：電気を蓄えておき、必要なときに電気を使うことができる機器

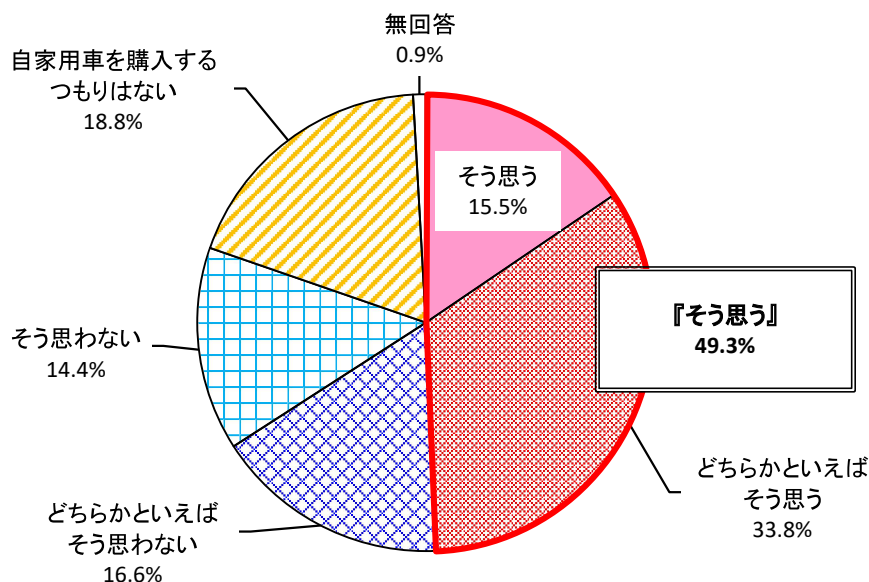
※3 HEMS（ホーム エネルギー マネジメント システム）

：電気の使用状況の確認や、照明や空調などの電気機器の制御をする戸建用システム

※4 ヒートポンプ給湯器（エコキュート）

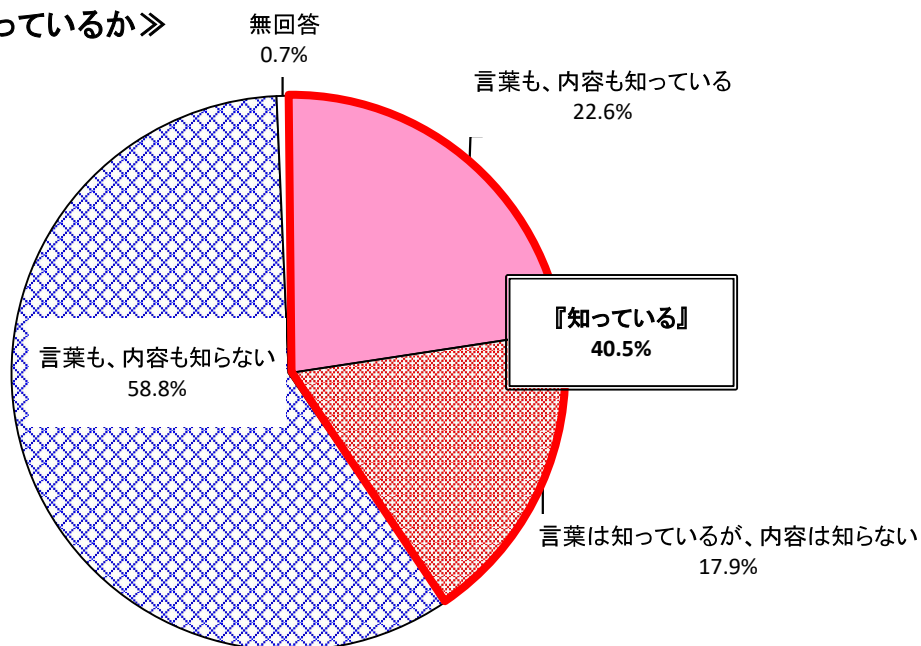
：空気の熱を利用し、わずかな電気を使い効率的にお湯を沸かす機器

《自家用車の購入・買い替え時に、電気自動車やプラグインハイブリッド自動車、燃料電池自動車の購入を検討しようと思うか》



⑤「ユマニチュード®」について(N=536)

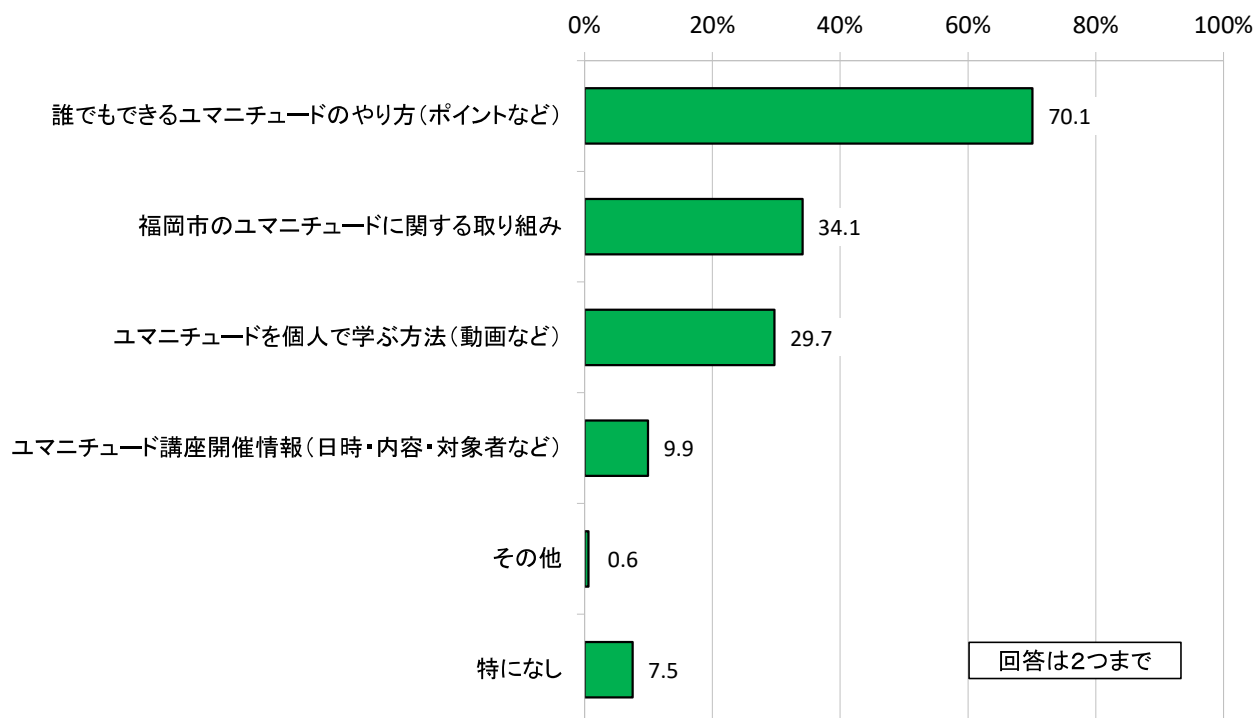
《「ユマニチュード」を知っているか》



※ユマニチュードについて

ユマニチュードは、認知症の方に届けたいサポートをうまく受け取ってもらうための具体的な技術と、「なぜそれを行うのか」という考え方(哲学)からできています。
ユマニチュードでは、「あなたのことを大切に思っています」ということを相手が理解できる形で伝えるため、「見る」「話す」「触れる」「立つ」という4つの基本の柱を定めています。

《ユマニチュードについてどのような情報がほしいか》



「誰でもできるユマニチュードのやり方(ポイントなど)」と回答した方が70.1%と最も多く、次いで「福岡市のユマニチュードに関する取り組み」が34.1%という結果になりました。